



2022年4月28日

各 位

会 社 名 SMK株式会社  
代表者名 代表取締役社長 池田 靖光  
(コード番号 6798 東証プライム)  
問合せ先 常務執行役員 大垣 幸平  
(TEL. 03-3785-1111)

通期業績予想と実績値との差異、営業外収益（為替差益）の計上  
及び剰余金の配当に関するお知らせ

2021年10月26日に公表いたしました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。併せて、2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）において、営業外収益（為替差益）を計上いたしましたのでお知らせいたします。

また、2022年4月28日開催の取締役会において、下記の通り2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたのでお知らせいたします。なお、本件は2022年6月22日開催予定の第100回定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値と実績の差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 48,500	百万円 1,000	百万円 2,100	百万円 1,500	円 銭 237.73
今回実績（B）	48,243	703	3,413	2,992	472.14
増減額（B－A）	△256	△296	1,313	1,492	
増減率（％）	△0.5	△29.6	62.6	99.5	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	48,560	1,070	2,601	1,917	297.92

2. 差異の理由

2022年3月期通期の連結業績につきましては、2022年3月期第4四半期において、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中国の生産拠点の操業規制が実施された影響等により、売上高、営業利益は前回予想を下回りました。経常利益は、為替相場の円安進行により2022年3月期第4四半期（2022年1月1日～2022年3月31日）に為替差益8億9千万円を計上したことにより、前回予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の増加により前回予想を上回りました。

### 3. 為替差益の計上

2022年3月期第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日)において為替差益5億3千5百万円を計上しておりましたが、為替相場の円安進行により、2022年3月期第4四半期連結会計期間(2022年1月1日～2022年3月31日)において、8億9千万円の為替差益を計上しました。この結果、2022年3月期第4四半期連結累計期間(2021年4月1日～2022年3月31日)において、為替差益14億2千6百万円を営業外収益に計上しております。これは主として、当社グループが保有する外貨建債権債務の期末為替レートによる評価に伴い発生したものであります。

### 4. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年1月25日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金	70円00銭	60円00銭	50円00銭
配当金総額	440百万円	—	324百万円
効力発生日	2022年6月23日	—	2021年6月24日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### 5. 理由

2022年3月期の期末配当につきましては、2022年3月期通期実績及び経営環境等を総合的に勘案し、前回予想の1株当たり配当金60円から10円増配の70円とさせていただくことといたしました。

(参考) 年間配当金の内訳

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	0円00銭	70円00銭	70円00銭
前期実績(2021年3月期)	0円00銭	50円00銭	50円00銭

以上